

日本語教育機関教育活動評価

自己点検・評価票

日本語教育機関名: 専門学校湖東カレッジ 日本語科 (令和6年度)

作成: 令和7年10月10日

理念・教育目標	A	B	C
理念 日本語教育を通じて、異文化を理解し、コミュニケーション能力を有し、国際社会の発展に貢献する有為な人材を養成する。日本への理解を深め、時代の変化に対応し、より良い共生社会及び国際的な文化交流に寄与できる人材育成を図る。 また、日本で日本語を学ぶ留学生にそれぞれの能力に応じた日本語を教育し、留学生たちの夢と希望を実現する。「留学してよし」、「学んでよし」、「教えてよし」及び「進路よし」の精神で、留学生から選ばれる学校を目指し、留学生が十分に勉学に励むことができるよう、日本での生活環境、学習環境を整え、地域の活性化、及び国際社会に貢献する。	—		
教育目標 ①留学生に「日本語教育の参照枠」を把握させ、希望する高等教育機関への進学に必要な日本語能力の獲得を実現、進学を推進する。 ②希望する高等教育機関に進学できるよう日本語能力試験及び日本留学試験の成績を修めさせる。 ③日本で生活する留学生に対しては地域、日本、母国、国際社会に貢献できるよう日本語力を身に付けさせ、日本のマナー・ルール及び習慣が理解できる人材を育成する。 ④留学生のニーズに応じ、進路に関し100%達成を引き続き目指す。(現在まで進学率は100%を達成している。)	—		
育成する人材像 日本語教育を通じ、異文化を理解し、コミュニケーション能力を有し、国際社会の発展に貢献する有為な人材を養成すると共に、日本への理解を深め、時代の変化に対応し、より良い共生社会及び国際的な文化交流に寄与できる人材育成を図る。	—		
1. 学校運営	適合		
1-1 日本語教育機関の告示基準に適合している。	○		
2. 入学者の募集	A	B	C
2-1 教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。		○	
根拠 ホームページ上に学校情報、シラバスを掲載している。多言語での掲載は未達成。			
2-2 海外の募集代理人(エージェント等)の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。		○	
根拠 学校に募集担当を配置し、現地まで学校説明、募集活動に行っている。出張後の報告書の確認は未達。			
3. 入学者選考	A	B	C
3-1 入学者の選考に関し、学習能力、勉学意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認している。	○		
根拠 募集担当による現地での筆記試験と面接、及びオンラインによる学園長、校長、主任による面接で確認している。 また、在留資格申請書類や願書の記載事項(経費支弁者の年収、職種、学生の留学理由)により判断、確認している。			
3-2 入学者の選考に当たっては、学校関係者(職員等)が面接等を行うよう努めている。	○		
根拠 オンラインによる学園長、校長、主任による面接を実施している。			

4. 納付金	A	B	C
4-1 入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記している。	○		
根拠 ホームページ、募集要項、パンフレットに記載している。			
4-2 関係諸法令に基づいた学費返還に関する規程を定め公開している。		○	
根拠 学則に規定している。公開することに対しては未達。			
4-3 上記4. 1及び4. 2については入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。		○	
根拠 4-1については達成しているが、4-2については未達成。			
5. 学生支援	A	B	C
5-1 日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	○		
根拠 日本で生活する上で必要な交通マナー講習、ゴミ分別講習、防災講習を入学してすぐ行っている。また、日本事情を授業科目に取り入れ、日本文化・習慣・歴史・地理・社会などを学ぶ。			
5-2 進路指導を適切に行っている。	○		
根拠 1年生の後期、2年生の前期、後期に学生と面談を実施している。			
5-3 重篤な疾病や傷害及び交通事故のあった場合の対応を定めている。	○		
根拠 校長、学園長に報告し対応を検討している。			
5-4 入管法の留意点については学生へ伝達、指導を定期的に行っている。	○		
根拠 入国時のオリエンテーションで外国人スタッフが学生に周知している。			
5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取り組みを継続的に行っている。	○		
根拠 入国してすぐのオリエンテーションで各国募集担当職員が上記について説明をしている。また、警察署の方に防犯や資格外活動、交通ルールについて指導していただいている。			

6. 教員	A	B	C
6-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている。		○	
根拠 それぞれの職務について明確な役割分担はしていない。			
6-2 教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施するとともに、他機関の実施する研修会などへの参加を促している。		○	
根拠 学内での勉強会を実施し、紀要にまとめている。他機関の実施する研修会の情報共有が不足している。			
6-3 教員評価を適切に行っている。		○	
根拠 校長が授業見学を実施し、評価している。授業見学のみの評価に留まっている。			
7. 教育活動	A	B	C
7-1 理念・教育目標に合致したコースを設定し、カリキュラムを体系的に編成している。	○		
根拠 理念・教育目標に合致したコースを設定し、カリキュラムを体系的に編成している。			
7-2 授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し、適切なクラス編成を行っている。	○		
根拠 授業開始前にプレースメントテストを実施し、日本語能力に応じたクラス編成を行っている。			
7-3 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。		○	
根拠 教員全員が専任で、2年目以上の経験がある。担当授業は23コマ(45分／1コマ)で適切である。ただ、2年目の教員が進路指導まで行っていることが行っていることが気がかりである。			
7-4 授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録している。	○		
根拠 授業記録簿に記録している。			
7-5 理解度、到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学生に伝えている。	○		
根拠 理解度、到達度テストを実施し評価している。結果も学生に周知している。			
7-6 授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っている。		○	
根拠 校長が授業見学を実施しフィードバックしている。時期は不定期。			

8. 教育施設	A	B	C
8-1 教室には十分な照度があり換気がなされているとともに、語学教育に必要な遮音がなされている。	○		
根拠 照度は問題なし。定期的な換気を実施。遮音もなされている。			
8-2 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めている。	○		
根拠 図書室を自習室として使用できる。また、各教室も使用可能。			
8-3 法令上必要な設備を備えている。	○		
根拠 保健室、図書室、トイレ、事務室、教室(机、椅子)など告示基準における設備は完備している。			
9. 安全・危機管理	A	B	C
9-1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	○		
根拠 入学してすぐ市役所で国民健康保険加入の手続きをしている。			
9-2 感染症発生時の措置を定めている。		○	
根拠 校長・学園長への報告・連絡・相談を意識して行っている。措置・対応について学則に不記載。			
9-3 気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法を定め、教職員及び学生に周知している。	○		
根拠 校長・学園長への報告・連絡・相談を意識して行っている。学園長、校長からの連絡を学生に周知している。 防災訓練を定期的実施している。			
10. 法令の遵守等	A	B	C
10-1 法令遵守に関する担当者を定めている。	○		
根拠 安全委員会、保健委員会、環境委員会を組織、運営し定期的に委員会を実施している			
10-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。			○
根拠 行っていない。			
10-3 個人情報保護のための対策をとっている。	○		
根拠 学生情報を外部に持ち出すことをしない。			
10-4 地方出入国在留管理局、その他関係官公庁、への届け出、報告を遅延なく行っている。		○	
根拠 基本的には期限までに届け出、報告を実施しているが、多忙時に遅れることがある。			

A:「達成されている」あるいは「適合している」項目

B:「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が確実な項目

C:「未達成」あるいは「適合していない」項目